

令和6年度

奈良市版自分ごと化会議 in 東部

報告書

2025年3月25日

## 1. 自分ごと化会議の実施概要

2024年10月から「わたしたちの地域と観光について考える ～地域の魅力で人を呼ぼう～」をテーマに、無作為に選ばれた住民による議論を行いました。

### (1) 参加者

|                    |           |
|--------------------|-----------|
| 無作為に抽出し、参加案内を送付した数 | 1,063件    |
| 会議に参加した方(応募率)      | 26名(2.4%) |

### (2) 参加者一覧(敬称略)

|        |         |       |       |
|--------|---------|-------|-------|
| 池之畑 祐介 | 井ノ倉 寿美子 | 今西 正憲 | 大西 寛昭 |
| 黒田 篤史  | 藤本 正義   | 吉田 清美 |       |

※ 掲載に承諾いただいた方のみ掲載しています。

### (3) テーマ及び各回の内容

#### ① テーマ

わたしたちの地域と観光について考える ～地域の魅力で人を呼ぼう～

#### ② 内容

|     | 日程             | 内容                                                                                                                                                                                  |
|-----|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1回 | 2024年10月19日(土) | <ul style="list-style-type: none"><li>● 東部地域の現状と取り組み</li><li>● ローカルコープ構想について</li><li>● 自分ごと化会議について</li><li>● 議論1: 東部地域の好きなところや魅力</li><li>● 議論2: 好きなところを残すために、どのようなことができるか</li></ul> |
| 第2回 | 2024年11月30日(土) | <ul style="list-style-type: none"><li>● さとやま体験事業の説明</li><li>● 議論1: さとやま体験事業を改善していくために何ができるか</li></ul>                                                                               |
| 第3回 | 2024年12月21日(土) | <ul style="list-style-type: none"><li>● 議論1: さとやま体験事業の中で、自分だったら何ができるか</li><li>● 議論2: 具体的な動きとして何をしていくか</li></ul>                                                                     |
| 第4回 | 2025年1月26日(日)  | <ul style="list-style-type: none"><li>● 報告書(案)について</li><li>● 議論1: わたしのアクションプラン</li></ul>                                                                                            |

### ③会議風景



## 2. 自分ごと化会議 参加者からの宣言

私たち「自分ごと化会議 in 東部」のメンバーは、2024年10月から4回にわたり「わたしたちの地域と観光について考える ～地域の魅力で人を呼ぼう～」をテーマに話し合いを重ねてきました。特に、人口減少や少子高齢化に伴う「担い手不足」という課題に対し、地域外から東部地域に関わる交流人口や関係人口と呼ばれる人たちを巻き込む方法について話し合いました。

奈良市東部出張所から東部地域の住民に対して無作為に送られた案内文が、たまたま届いたことをきっかけに参加した26人は、ほとんどが初めて顔を合わせる人たちで、住んでいる地区や仕事、年齢、お互いの考えも全く分からないところから話し合いが始まりました。初めはよそよそしく、緊張もしましたが、回を重ねるごとに打ち解け合い、和気あいあいと、時には白熱した議論を交わしました。

人口減少と少子高齢化が進み、様々な課題を抱える東部地域ですが、私たちが暮らしの中でやってきた草刈りや、しめ縄作り、お祭りなどは、地域外の人々にとっても魅力的なものです。こうした私わたしたちにとっては当たり前の日常を改めて見つめ直すことで、実は地域の魅力として、新たな人々を呼び込むきっかけになるのではないかと気づかされました。

また、新しいイベントや企画を行う上で最も重要なのは、地域住民同士のつながりです。今回の会議を通じて、同じ地域に住む人同士がつながれば新しいものが生まれるのではないかと、そんな機運を感じることができた場でもありました。

次ページの3つの宣言は、4ヶ月間にわたって話し合った私たちからの東部地域の未来にむけた宣言です。会議では、私たちが実際に直面している日々の暮らしの中で感じている課題について率直に議論しました。文字にすると少し「きれいに」まとまり過ぎているかもしれませんが、この宣言には、私たちの熱意と、より良い地域を作りたいという願いが込められています。また、少しでも生の声が伝わるよう、委員の「声」を交えてお届けします。

私たちは、この宣言が「ゴール」だと考えていません。また、会議では公衆Wi-Fiの設置、道路の整備、規制緩和など多くの意見もあり、より良い地域作りに向けた話し合う場がまだまだ必要です。

この宣言がきっかけとなり、東部地域の様々な場所で、人々がつながり、多くの具体的な行動がうまれてほしいと考えています。

自分ごと化会議 in 東部 参加者一同

## 宣言

1. 私たちの日常の体験や、自分たちも楽しめるイベントに、地域外の人を巻き込んでいこう

私たちが生活する中で日常的に行っているしめ縄作り、焼き芋体験、農機具の修理、草刈りなどを、「さとやま体験事業」として地域外の人々に提供したり、自分たちが楽しめるイベントを企画・開催して地域外の人々にも参加してもらうことで、東部地域をより活気ある場所にしていきます。

### 【市民・個人としての具体的なアクション】

- しめ縄作り、焼き芋体験、農業体験、農機具の修理、草刈り、味噌作り、まちあるきなど、私たちの日常生活の中にも体験として提供できる素材があるため、改めて体験を発掘し、「さとやま体験事業」として地域外の人に体験してもらいます。
- 地域のお祭りをはじめ、ドッグランやトレイルランなど、私たち自身が楽しめるイベントを企画して地域外の人にも来てもらいます。
- 誰かの企画を積極的にサポートします。

### 【行政にお願いしたいこと】

- 東部地域住民向けに、さとやま体験事業に関する情報提供や説明会を実施してほしい。
- 何かやりたい人に向けて制度や法律に関する勉強会を開催してほしい。
- イベント開催に必要な資金支援や、まちづくり会社設立に向けた支援体制を構築してほしい。

## 宣言

2. 地域内にもさとやま体験事業の情報発信を強化していこう

東部地域には既に様々な魅力が存在し、「さとやま体験事業」のように地域外へ発信する機会も存在しています。こうした機会を活かすためにも、地域住民同士の情報共有、情報発信を強化し、より多くの住民と一緒に一体となって東部地域を盛り上げていきます。

### 【市民・個人としての具体的なアクション】

- 垣内や自治会など、既存のコミュニティを活用して情報発信をします。
- さとやま体験事業に関する情報交換や交流を目的とし、新たにさとやま体験事業専用のグループLINEを作成します。
- 家族や友人、ご近所、自分の周りにいる人に積極的に情報を伝え、参加を呼びかけます。

### 【行政にお願いしたいこと】

- 体験の情報や、やりたい人の情報を集約し、マッチングできるようなきっかけづくりをしてほしい。

### 3. 具体的な動きをつくるためにも、地域の人同士で繋がりを合おう

新しいイベントや企画を行う上で、地域住民同士のつながりが不可欠です。担い手不足が深刻化する今だからこそ、改めて地域の人同士の連携を強化していきます。

#### 【市民・個人としての具体的なアクション】

- 年末年始の集まりなど、地域住民が集まれる場を積極的に企画し、地域の人同士で語り合います。
- 地域（自治連合会など）の枠を超えた「大和高原サークル」を結成し、広域的な連携を図ります。
- 地域で企画されるイベントや活動に積極的に参加します。
- 地元を離れていった人たちも参加できるような場を企画します。

#### 【行政にお願いしたいこと】

- やりたいことがある人同士をつなげる役割を担ってほしい。
- 自分ごと化会議とは別に、住民が気軽に集まり、意見交換できるような場を定期的に設けてほしい。
- 地域住民が集って気軽に話ができる場所を作ってほしい。
- 地域住民がさとやま体験事業自体に参画できるようにしてほしい。

#### コラム：すでに具体的なアクションが生まれています

第4回自分ごと化会議の翌週の2月1日(土)。参加者の織田知訓さんから、自営業としてやられている珈琲豆のサンプルをいただき、「東部ブレンドコーヒー試飲会」を開催しました。こういった小さい場からでも地域の繋がりをつくっていきましょう。もしかしたら、東部オリジナルブレンド珈琲が生まれるかも!?



### 3. 参加者のアクションプラン

第4回自分ごと化会議では「具体的なアクション」について話し合いを行いました。以下はアクションプランシートに書かれた個人の宣言です。

---

宣言1. 私たちの日常の体験や、自分たちも楽しめるイベントに、  
地域外の人を巻き込んでいこう

---

#### ①情報発信の強化

- 奈良市外からの旅行者に対し、まずは東部地域の情報も見てもらうように促します。

#### ②地域資源の活用

- りんごの収穫やお茶づくりなどの農業体験プログラムを提供し、観光客を誘致します。
- 自身が行っている味噌仕込み講習会などのコンテンツを提供し、地域外からの参加者を呼び込みます。
- イベント用や個人用に、オリジナル珈琲ブレンドを作成します。
- 外国人向けに、日本文化体験(書道、着物、折り紙、和室、流しそうめん、和食作り、田植えなど)を提供します。
- 市内からのアクセスが良い点を活かし、小さい子どもとその親を対象に、初心者向けの野菜育てサークルを行い、自然と触れ合う機会を提供します。
- 「休耕田の花いっぱい作戦」と題し、自分たちでコスモスやヒマワリなど種を撒きます。
- まち歩き、田原歩き、野焼きにチャレンジ、わるガキになろう、虫取りチャレンジなどを提供します。

#### ③イベントの開催・支援

- 盆踊りなどの楽しめる地域イベントに参加してもらい、参加者に「良かった」と思ってもらうことで、地域活性化のサポート役を担ってもらいます。
- LINEグループを使って人を集めます。
- 他のイベントに協力していきます。
- 自身が行っている事業で、イベントをサポートします。
- 部門別にもLINEグループをもっと作ります。

---

宣言2. 地域内にもさとやま体験事業の情報発信を強化していこう

---

#### ①コミュニケーションの活性化

- 自治会からの連絡だけではお知らせを読んで終わりになってしまいうことが多いため、もう一押しできる方法を考えます。
- LINEグループや集会などを通して情報を発信していきます。
- 自分ごと化会議メンバーでのLINEグループに参加します。
- 自分ごと化会議メンバーでのLINEグループをもっと活性化させます。

#### ②話題の提供

- りんご園など、まずは現在自分が行ってる活動を中心に情報発信していきます。
  - 味噌作り(健康増進)やこんにゃく作り体験などの体験情報を発信します。
  - 地域住民との会話の中で、さとやま体験事業の話題にもっていきます。
- ③情報発信媒体の活用
- 動画を撮ってYoutubeで配信します。
  - 地域のLINEグループへの参加を促します。
  - 自身のホームページやSNSで情報を発信します。

---

### 宣言3. 具体的な動きをつくるためにも、地域の人同士で繋がりが合おう

---

- ①地域活動への積極的な参加
- 地域のサークルに参加します。
  - 地域のコミュニティ活動や新しくできたグループに参加します。
  - イベントに積極的に参加すると共にまわりの人を巻き込みます。
- ②地域住民との交流促進
- 昔のような運動会や盆踊りなどが無くなっているため、幅広い年代で話す機会が全く無くなっています。
  - 地域住民や、結婚などで地域を出て行った人たちも参加できるような場を企画します。
  - 積極的に地域をうろうろして地域の人と話します。
  - まずは近所の人とのLINEグループをつくります。
  - 自分ごと化会議メンバーでのLINEグループの投稿を増やします。

---

### その他の宣言

---

- ①地域活性化に向けた取り組み
- イベントをなされる方がコーヒーなど必要であれば、協力できることもあると思います。
  - 地域の生徒数の減少やコロナ禍でなくなってしまった行事(特に小学校関係)などを復活させていきます。
  - キャンプ場を増やします。
  - 奈良市の映画難民問題をなんとかします。
  - 大柳生にあるヨットなどの地域資源を観光名所としていきます。

## 4. 議論の経過

| 第1回会議 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日程    | 2024年10月19日(土) 13:30～16:30                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 場所    | 旧柳生中学校                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 内容    | <p>まずは私たちの暮らしている東部地域の魅力と課題について地区別(田原・狭川・東里・大柳生・柳生)に分かれて議論を行いました。</p> <p>会議で挙げた東部地域の好きなところは以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 美味しいお米やお茶があること</li> <li>● 子どもがのびのびとしていること</li> <li>● 花火やお祭りがあること</li> <li>● 何もないこと</li> <li>● 過ごしやすい気候や四季を感じれること</li> <li>● 歴史的な寺社仏閣があること</li> <li>● ちょうどいい田舎であること</li> <li>● 交通の便(都会と田舎の間)が良いこと</li> <li>● 野外活動センターやダムがあること</li> </ul> <p>その上で、魅力ある東部地域でこれからも暮らしていく上での課題について議論を行いました。</p> <p>課題については、5地区で共通するテーマとして「農地の保全」「お祭りの持続」「空き家の増加」が挙げられ、いずれも「担い手不足」が背景にある大きな課題であると議論されました。</p> |

| 第2回会議 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日程    | 2024年11月30日(土) 13:30～16:30                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 場所    | 東里地域ふれあい会館                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 内容    | <p>第1回会議で議論された「担い手不足」の課題を解決するために、「交流人口」や「関係人口」と呼ばれる地域外の人との関わりをつくりだす方法について考えました。</p> <p>冒頭、東部出張所が実施する「さとやま体験事業」について説明をした上で、事業を改善していくために何ができるかについて議論を行いました。</p> <p>さとやま体験事業の概要は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 年間事業予算は約400万円で、約200万円が年間の運営費、約200万円が助成金を活用したキャンペーン費用(令和6年度)。</li> <li>● ファミリー層をメインターゲットに、現在67のコンテンツを提供している。</li> </ul> |

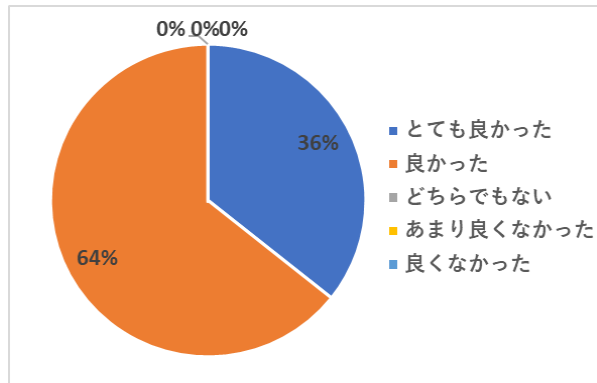
|  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <p>次に、事業をより良いものにするために、参加者から「個人としてできること」「地域でできること」「行政にお願いしたいこと」という3つの観点から事業改善に向けた提案を行いました。</p> <p>「個人でできること」「地域でできること」としては、以下の意見が挙げられました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の隠れた魅力を見つけること</li> <li>● 体験コンテンツを作り出すこと</li> <li>● 東部地域内への事業周知の強化すること</li> <li>● 来訪手段の一助を担うこと</li> <li>● 宿泊場所を増やすこと</li> <li>● 地域住民の参加促進など担い手づくりをすること</li> </ul> <p>「行政にお願いしたいこと」としては、以下の意見が挙げられました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 東部地域内への事業周知の強化</li> <li>● 地域外への情報発信</li> <li>● Wi-Fi環境や道路などのハード整備</li> <li>● 地域住民の小さな意見の集約</li> </ul> |
|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 第3回会議 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日程    | 2024年12月21日(土) 13:30～16:30                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 場所    | 興東公民館 狭川分館                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 内容    | <p>第2回会議で議論した「さとやま体験事業」の中で、どのようなことができるのか、具体的なアクションとして何から始めるかについて議論を行いました。</p> <p>さとやま体験事業の中でできることとして、以下が挙げられました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 農業体験や梅ジャムづくりなどの体験コンテンツの提供</li> <li>● みんなでつくって食べるイベントやトレイルランイベントなどの企画</li> <li>● すでに実施しているイベントとの掛け合わせ</li> </ul> <p>次に、具体的なアクションとしては、以下が挙げられました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 有志のLINEグループを作成し、お互いに連絡を取れる状況をつくる</li> <li>● 地域の垣根を越えたグループ(大和高原サークル)として活動を行う</li> <li>● 新年会を実施して、カジュアルに語り合うことから始める</li> </ul> |

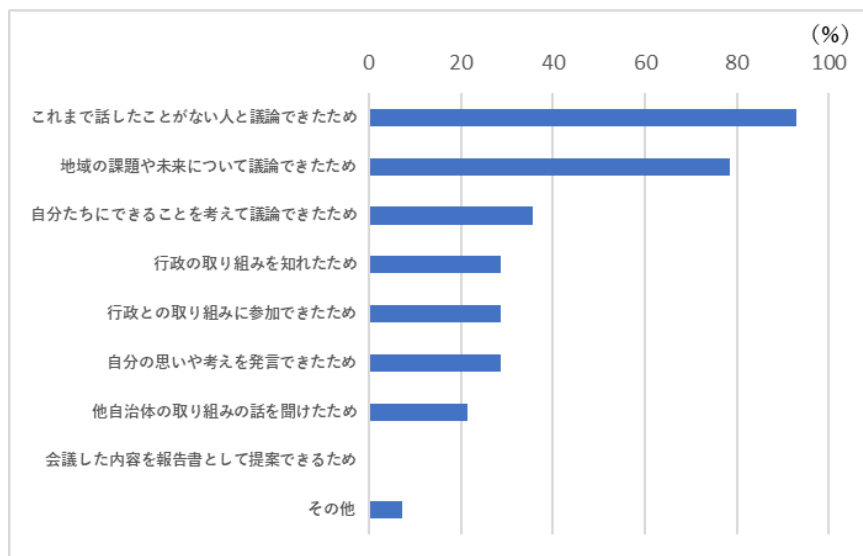
| 第4回会議 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日程    | 2025年1月26日(日) 9:00～12:00                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 場所    | 田原公民館                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 内容    | <p>最終回である第4回会議では、報告書をベースにいままでの会議を振り返りながら、具体的な行動として「わたしのアクションプラン」について議論と発表を行いました。(アクションプランは報告書を参照)</p> <p>最後には、アクションプランと共に、全4回の自分ごと化会議に参加した感想をご共有いただきました。感想としては、以下のような前向きな意見がでました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域にいろんな人がいることが資源。</li> <li>● LINEグループやサークル活動にも参加したい。</li> <li>● まずはお話すること、みんなでいろいろ話すことからはじまると思うので、もっと話したい。</li> <li>● 味噌づくりといった活動だけでも力になれるということに気付いた。</li> <li>● 自分ごと化ってどういうことかなと思って参加したら、自分はあまり何もできてないなということに気付いた。</li> <li>● 地域活性化の取り組みのなかで人のつながりが浅くなっていった中で、つながる機会が大事なのだと思う。</li> </ul> |

## 5. アンケート結果(N=14)

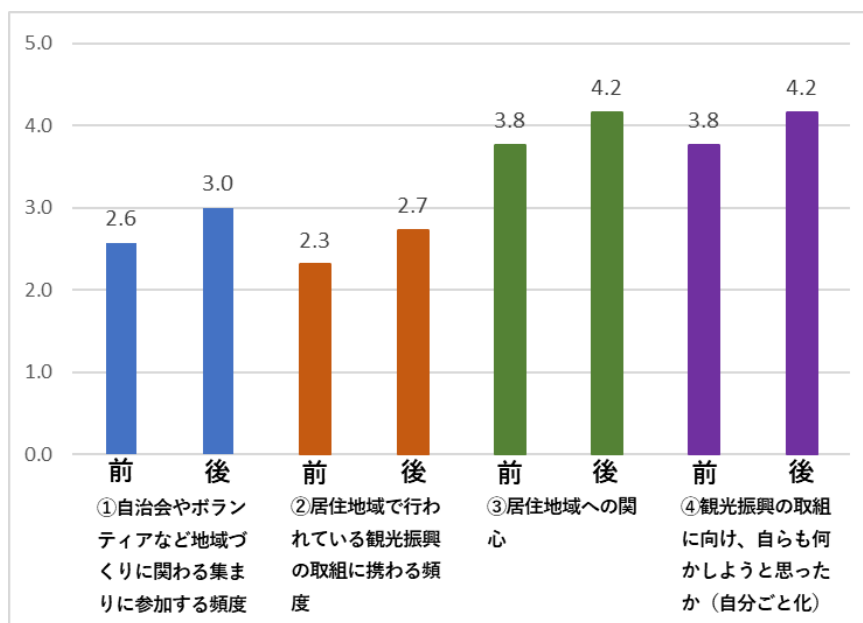
### (1) 自分ごと化会議に参加して



### その理由(複数回答可)



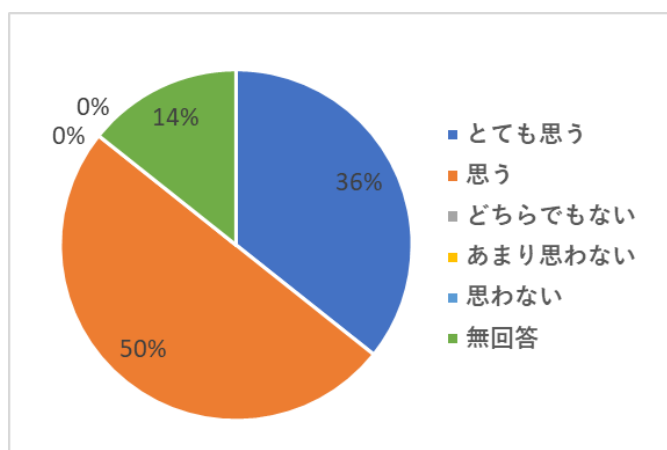
### (2) 自分ごと化会議に参加した前後の変化(5点満点)



## その他の意識や行動の変化

- 地域貢献することで自らの生活も変わっていくような気がしました
- 以前は自分が関われる事はないと思っていましたが、皆さんの話を聞いて自分でもお手伝いできることがありそうな気がしてきました
- 地域に協力できることが自分にあるのか、という課題を考えるようになりました
- 生活環境が大きく変わったので、できることを見極める時間が必要だと思いました
- さとやま民泊の取り組みに対して地域説明会の実施が必要だと思います
- 地元のコンテンツを利用したいと思うようになりました
- 地元の事についてSNSで発信するようになりました

## (3) 自分ごと化会議全体を通しての満足度



## (4) 他に議論・意見交換したいテーマ

- まちあるきなど個人ができることから始めていくにあたってのSNS（Instagramなど）発信について
- 歴史ツアーとガイドについて
- さとやま応援サークル（地域住民向け）と、さとやま参加サークル（地域外向け）の2つのグループを作り、地域住民向けには運営側への協力者向けの発信を、地域外向けには企画広報としての発信を行うにあたっての具体的な運営方法について
- 地域住民が集まる場について
- 地域内の住民のための小さな利便性について（高齢者の病院受診や買い物物の支援など）
- 地域に住んでいる人（特に子ども、ファミリー層）が地域を好きになるためにはどうすれば良いかについて

## 6. 各会議で改善提案シートに記載された内容

### (1)現状の課題

#### ①地域資源の活用

- 休耕地が多い
- 耕作放棄地の利用
- 休耕田、草刈りなど大きなイベントでなくても小規模で今あるもの(田畑)を利用
- 旧興東中学校の活用
- 空き家の活用
- 東里地区には何もない
- 大和高原野菜のブランド化を契機とした地域活性化
- 農機具の手入れ
- 体験イベントの開催

#### ②情報発信と広報

- デジタルコンテンツに関する知識
- 人を集めたい時に幅広く周知すること
- コンテンツを増やす
- さとやまコンテンツに東里地域の情報が少ない

#### ③人材とコミュニティ

- やりたい人がやりたい事の課題解決ができない
- やりたい人、やりたいことの掘り起こし
- 地域内の力を形にできていない(コンテンツの充実)
- 自治会に関わってやっているやらされていると感じている人もいる
- 運営者を集める場がない
- 農講など昔は地域の集まりがあったが、今はメインで動く人がいない
- 特に目立つことがないが、担い手、町の行事
- 担い手、協力者の不足
- イベントを行う上で仲間集めの課題
- 仲間集めを先に行う必要
- 新年会から始め、LINEグループをつくる
- さとやま用グループラインをつくる
- 大和高原サークルをつくる
- 外からの人を呼び込む
- みんな共通課題はもっているが、自分ごとにつながらない

#### ④インフラ整備

- 交通が不便
- バスがなくなる
- アクセスの充実
- 道が悪い
- 道の補修
- Wi-Fiがない
- 電波が悪い。改善: 公衆Wi-Fi

#### ⑤その他

- 事業を行うにあたって住民の負担があるとうまくいかない

- 「里山」というテーマ
- ドッグランのための柵をつくる
- 調整区域による制約が大きすぎる
- やりたいことができない

## (2)現状の課題に対して個人ができること

### ①地域資源の活用

- 稲作をする
- 農機具修理の講師
- 農業体験など、日常作業の体験を提供

### ②イベント企画、運営

- やきいも
- 民泊の運営
- コスプレ連続イベント
- 家の年中行事の1つを小さなイベント化する
- 自宅裏の空き地に5月こいのぼりをあげるので見てもらえることができる

### ③情報発信、共有

- 東鳴川の養蜂場、首切り地蔵など、知っている情報を発信
- 地域の活動者に今後の地域の未来について話す
- 自分ごととして地域の友人と話をする
- 地区の人が地区のことをPRする
- 会議を行う
- 全戸配布する

### ④コミュニティ形成

- イベントを開催する時に、地域で頼める人を探す
- 何かやりたい人はいるはず
- やりたいことを周囲にアピールする
- LINEグループをつくる
- 同級生ネットワークの活用
- 参加しやすい環境をつくる
- イベントでメインとして働ける人を見つける
- 新年会をする
- 新年会をやる際のSNS等による仲間集め

### ⑤その他

- 個人タクシー、ライドシェアなどの送迎の実施
- 道の荒れてるポイントを覚える

## (3)地域課題に対して地域ができること

### ①情報発信、共有

- 説明会の実施
- まち全体への周知
- やりたいことを出してもらう

### ②コミュニティ形成、連携

- 自治会連合会事務局や公民館との連携
- 自治会との連携、日常との体験

- 担い手の募集
- 若い人の同級生ネットワークで人集め
- やりたい人を集める。
- 自治会館の活用
- 仲間集めの課題について自治会で話す
- 話をする機会をつくる
- 個人の思いを話せる場作り
- 自治会で協議する
- 自治会、連合会などの王道ルートでの周知
- 地域住民みんなできっかけ作り
- 大和高原全体でのイベントとする
- ③インフラ整備
  - 公衆Wi-Fiの設置
  - 空荷の車の有効利用システム構築
- ④組織、制度の創設
  - まちづくり会社の設立
  - 農家の組合をつくる
- ⑤その他
  - おためし住宅
  - 目標に向かって協力して進める
  - 指導などを行う
  - コンテンツとしてあがったものの維持管理
  - 阪原の柵がうらやましい

#### (4) 地域課題に対して行政にお願いしたいこと

- ①イベント、事業の支援
  - 説明会の主催
  - デジタルコンテンツの活用。QRコードを使ったスタンプラリーシステムの構築
  - イベントにおける周知時の安心感付与
- ②広報、周知
  - 広報、情報の集約
  - コンテンツの情報発信。  
(例) タケノコ掘り体験やりまーす。エントリーしてください。  
地域の方々から数名の手があがれば複数拠点で実施可能
- ③情報提供、支援
  - 制度を知る人を招いての説明会や勉強会
  - できること、できないこととの精査(法や規制)
  - アクション前の法律など勉強会
  - 何かやりたい人を集めて制度上などの抜け道などをアドバイスいただく
  - 法や規制の抜け方を教える
- ④コミュニティ形成、場づくり
  - 参加しやすい環境をつくること
  - やりたいことがある人が来れる場をつくる(自分ごと化会議は必ずしも意欲のある人だけが来るわけではない。意欲のない人には負担)
  - 気軽に集まれる場所をつくる
  - 人と人をつなげる

- 自治会からのルートだけでなく、このような取り組みに特化したルートをつくる
- さとやまのLINEをつくる
- ⑤組織、制度の創設
  - まちづくり会社の設立支援
  - 自治会連合会、大和高原全体を大きなサークルとする
  - 起業に関するプチ勉強会や相談会の実施
  - 農業者をマッチングできるようなきっかけづくり
- ⑥インフラ整備
  - 公衆Wi-Fiの設置
  - 東部地域内に3～4ヶ所の公衆Wi-Fi設置
  - パンフレットや紙よりも、道をなんとかしてほしい
- ⑦その他
  - 住民に協力を体現する
  - 仲間集めの課題について、自治会へ話す
  - 規制緩和
  - 必要な資金を提供